

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2018年 4月 26日

## 申17号「販売体制の見直し(会津若松、山形駅)に関する申し入れ」団体交渉

2018年4月25日13時30分から申17号「販売体制の見直し(会津若松駅、山形駅)に関する申し入れ」(2018年4月3日申入)団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。既に作業ダイヤは変更されていますが、提案通り、2018年6月1日から実施となる予定です。詳細など不明な点ございましたら、地本業務部まで連絡を下さい。

(1項)この間の会津若松駅、山形駅における、お客さまのご利用状況や駅の業務実態等を、JR 東日本会社内や仙台支社内における相対的な位置も含めて具体的に明らかにすること。また、お客さま周知を行い、苦情などにより現場負担とならないようにすること。

(回答)駅業務体制の見直しについては、当社を取り巻く環境の変化やお客さまのご利用状況等を総合的に勘案し、より効率的な業務執行体制を構築していくものである。

### 【主な議論】

・会津若松駅においては券売機増設によりセルフ購入率が上がった。山形駅では6月くらいに券売機増設を考えている。他の駅と比べて、発見枚数など特別多いわけではない。基本的には窓口はまだあるので、特別な周知は考えていない。

(2項)提案時に作業ダイヤを見直すとの事であったが、具体的な課題・問題に関して、明らかにすること。

(回答)販売体制の見直しについては、駅の特情やお客さまのご利用状況等を総合的に勘案し、より効率的な業務執行体制を構築していくものである。

### 【主な議論】

・支社として、大きな問題はない認識。券売機案内などは駅総体、その日の体制で対応となる。

(3項)多客時や異常時等対応のために、波動窓口等として、山形駅に関しては3窓目、会津若松駅に関しては2窓目の設備は継続すること。

(回答)券売機の案内体制や設備等を整備し、より効率的に対応していく考えである。

### 【主な議論】

・6月1日から体制をとるが、計画は今すぐにはない。予備マルスはコストがかかるので状況を見て撤去する。基本的にはMVで対応する。

(4項)現場の声を踏まえて施策を進め、働きがいやモチベーションを高めて実施できるようにすること。

(回答)施策実施にあたってはこれまでと同様に社員の声についても把握していく考えである。

### 【主な議論】

・チケットレス化の方向は変わらないが、切符ゼロには現時点では難しい。人が出来るところは人で行っていく。

(5項)販売体制の見直し後に検証を行い、必要な改善をおこなうこと。また、問題解決できない場合は、見直しをおこなうこと。

(回答)具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約(平成27年10月1日締結)」に則り、取り扱うこととなる。